

一般質問

一般質問は、6月12日から14日までの3日間、18人の議員によって行われました。質問は、福祉行政や教育に関するものをはじめ、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。
(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)

※用語解説(下段)



待機児童解消に向け 保育コンシェルジュの設置を

公明党 山下 博己
一 広告事業の取り組みについて
問 財政が厳しい中、自主財源の確保が重要だが、本市のホームページがリニューアルしたにもかかわらず、新はだの行革推進プランでも有料広告により収入を得るとしているが、取り組みはどのようか。
答 魅力あるホームページの作成や、色んな広告媒体の検討を行い、収入確保に努めたい。

二 待機児童の解消について
問 働く女性の社会進出や、経済不況などから共働き志向が高まる中、潜在的待機児童数が多い実情があるが、保育ママの拡充に向けた取り組みはどのようか。
答 連携保育所による支援機能の向上などにより拡充に努めたい。

三 横濱市や相模原市、近隣では平塚市や伊勢原市でも取り組んでいる、野球場や競技場などの公共施設に命名権を与え、広告収入を得るネーミングライツを本市でも実施してはどうか。
答 先進自治体での導入の効果や課題について調査していきたい。



今こそ身を削る改革の実践を

民政会 阿蘇 佳一
一 財政再建について
問 ①県職員は給与を4%から約10%減額するが本市の減額は、②平成25年度実施の4億円の遊休市有地売却予定は、③公共施設再配置計画の後期プランは、④知恵と工夫による経費削減策は、どうか。
答 ①早い時期に具体的に詰める。②時期を逸することなく、売却手続きに入る。③公共施設の床面積や管理運営費を削減し、複合化を

加速させる。④自動販売機設置の一般競争入札や庁舎駐車場のコインパーキング化も研究したい。
二 平成25年4月6日のゲリラ豪雨について
問 ①建設費約27億円の大根川ポンプ場は機能したのか、②被害が増加した鶴巻温泉駅南側の塩貝橋付近の根本的見直しは、③大橋台崖崩れの復旧対策、再発防止策は、④避難所となった鶴巻公民館の雨漏り対策と高齢者への簡

易ベッドの確保は、⑤迅速かつ適切な職員配置は、どうか。
答 ①代々木地区周辺は、被害が最小限で済んだ。②※内水ハザードマップをもとにコンピュータ上に再現し、具体的な改善策を検討する。③法に基づく区域の指定と防災工事を県に要望し、工事の早期実施に向けて調整する。④平成25年中に340万円かけて雨漏り対策工事を実施する。また、ベッドの確保など避難所体制の充実を図る。⑤地元職員を多く本部員に配置し、配備体制の充実を図る。



大秦ショッピングセンターの 建て替えの早期実現を

新政クラブ 村上 茂
一 報徳仕法の活用について
問 全国報徳サミットの開催を契機として、二宮尊徳の至誠、勤労分度、推譲といった報徳仕法を市民生活にどのように活用していくのか。
答 報徳サミットに合わせて、報徳仕法についての冊子を作成するほか、講座や講演会の開催、視察研修を実施する。また、子ども利用者にとりどのようにマッチングさせていくかが今後の課題となっている。横濱市のように、保育ニーズに合った支援策を紹介するための総合相談窓口となる保育コンシェルジュを設置してはどうか。
答 ニーズに合った情報を提供するために、しっかりと検討したい。

二 大森ショッピングセンターの建て替えについて
問 平成25年度は建て替えのため予算措置を見送った状況の中で、コンサルタント会社が選定され、事業が推進される見通しが立った。今後の取り組みとして、①権利者への建て替えに向けた意向確認は、②財源の確保は、③公共機能的床利用は、④今後の見直しは、どのようか。
答 ①複雑な権利関係を整理し、検討経過について説明会を行う。②国庫補助対象の優良建築物等整備事業について、県と相談している。③アンケートを実施し、市民ニーズの把握に努める。④目標としては、多数の賛成が必要とされる建て替え決議を26年夏ごろに成立させ、27年度に国庫補助事業として予算措置したい。

三 緑水クラブ 佐藤 敦
一 消防力の強化について
問 救急出動件数は、全国的にも増加傾向にあり、本市でも例外ではない。本市の救急出動件数は、高齢社会の進展もあり、この5年間で931件増加しているが、今後の救急需要対策はどのようか。
答 現在、救急出動は署所ごとに偏りがあるため、出動によって手薄となった地域に一時的に救急隊を移動配備し、効率的な部隊運用を図り、署所ごとの救急出動件数の均一化や現場到着の所要時間の短縮化について検証していきたい。
問 西分署は昭和49年に建設され、老朽化が進んでいるが、新東名高速道路や国道246号バイパスの計画がある中、建て替えについてどのように考えているのか。
答 西分署は、本署、南分署との配置などを考慮すると、現在の場所が適地であるとの考えから、公共施設再配置計画が進められている中、複合化施設も視野に入れ検



保育ママと遊ぶ子どもたち



将来を見据えた 消防組織の体制づくりを

一 消防力の強化について
問 救急出動件数は、全国的にも増加傾向にあり、本市でも例外ではない。本市の救急出動件数は、高齢社会の進展もあり、この5年間で931件増加しているが、今後の救急需要対策はどのようか。
答 現在、救急出動は署所ごとに偏りがあるため、出動によって手薄となった地域に一時的に救急隊を移動配備し、効率的な部隊運用を図り、署所ごとの救急出動件数の均一化や現場到着の所要時間の短縮化について検証していきたい。
問 西分署は昭和49年に建設され、老朽化が進んでいるが、新東名高速道路や国道246号バイパスの計画がある中、建て替えについてどのように考えているのか。
答 西分署は、本署、南分署との配置などを考慮すると、現在の場所が適地であるとの考えから、公共施設再配置計画が進められている中、複合化施設も視野に入れ検



秦野駅北口の大森ショッピングセンター



秦野市消防署西分署



クリーンセンター周辺住民の 安全緊急対応マニュアルを作成せよ

日本共産党 露木 順三
一 農業委員会等の役割と責任について
問 農地転用せずに、残土が積まれ機械による地響き、騒音で近隣に迷惑をかけている農地違法反の土地に、なぜ非農地証明を認められたのか。また、今後の対応はどうか。
答 県の運用方針に反し、また本市交付理由書にも不備があるのに関わらず、受理したことに誤りがあった。今後、農業委員会総会で非農地証明の交付を取り消し、農地に戻すため、農地法違反による是正指導を行う。

二 はだのクリーンセンター周辺環境等の安全・安心について
問 平成25年3月28日午後2時20分頃、クリーンセンターの排気ガス
答 スの塩化水素が自主規制値を超え、全戸を停止したが、子どもを預かる教育機関などへの連絡および説明や市民を守る対応はどのようか。
答 非常に低い濃度であり、環境や人体には影響ないと判断し、周知や連絡はしていない。法の規制値を超える場合は、屋内退避など注意喚起が必要であり、今回を契機に個別対応マニュアルを早急に作成し、不測の事態に備えたい。

三 渋沢丘陵の巨大霊園建設計画等について
問 開発行為の進捗よく状況や自然環境の保全の指導はどのようか。
答 一部、農振農用地の解除、県の分取林の契約解除が未了である。事業者、最大限の保全対策を講じるよう指導していきたい。



「子どもの貧困対策法」制定に際し 市政に望むこと

無所属クラブ 吉村 慶一
一 貧困世帯の負の連鎖について
問 国会で審議中の「子どもの貧困対策法」が定義する貧困世帯とは、所得が中間所得層の2分の1以下の世帯を指し、全世帯の10%にも及ぶ。本市は平成25年7月から貧困世帯の負の連鎖を断つことを目的に、中学生のいる生活保護を受給する36世帯だけを対象とし、本町地区に週一回の無料塾を開く社会的居場所づくり事業を実施するが、法案の趣旨に照らすと全く不十分であると思うがどうか。
答 福祉部としては、法案を注視していくが、まず生活保護世帯を対象とした高等学校進学支援事業に取り組みしていきたい。教育委員会では、福祉部の取り組みの円滑実施に向け連携を図っていきたい。
問 市長は平成25年5月に姉妹都市である米国テキサス州バサデナ市に招待された際、貧困世帯の負



の連鎖に関しても視察したようだが、状況はどのようであったか。
答 米国は移民社会であるため、国家を支えるものとして教育には熱心である。バサデナ市はヒスパニックの子どもたちが約82%いて、その多くは貧しい生活をしている。このことだったが、学校給食を朝食から提供するなど、親の生活環境に関係なく、子どもたちが世の中に出て、一人前の米国民として成長するのを、社会全体で支える政治を行っていると感じた。
意見 広範囲の子どもたちへの個別対応と支援が必要である。

用語解説 ※内水ハザードマップ…大規模な降雨などにより、下水道の雨水排水能力を上回る降雨が生じた際に、浸水の発生が想定される区域や実際に浸水が発生した区域の浸水に関する情報を記載したものの